



SAMS Information

The University of Tokushima Graduate School, Institute of Health Biosciences,
Support Center for Advanced Medical Sciences (SAMS)

No. 81
2014/5/1

第94回 HBS研究部 先端医研テクニカルセミナー

3Dイメージングセミナー

3次元電子顕微鏡 (Zeiss/Zigma & 3View)

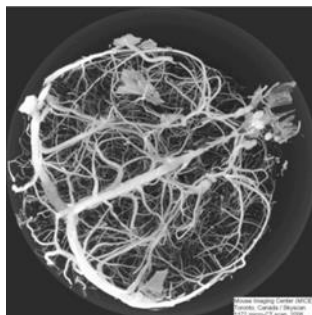
3次元X線マイクロCT (Bruker/SkyScan 1272)

総合研究支援センター 先端医療研究部門では、皆様の研究のお役に立つような テクニカルセミナーをシリーズで開いております。3次元イメージ構築技術は、内部構造を可視化できることから、今非常に注目されています。X線を使った『マイクロCT』は、非破壊で内部構造を観察できるばかりか、最新機種では350nmの高分解能を達成し、まさに内部構造を観察できる顕微鏡です。また最近話題の『3D-SEM』は、マイクロCTよりも高分解能なナノメートルスケールで内部観察できるため、次世代電子顕微鏡として最も期待されている技術の一つです。今回のセミナーではこのように内部構造を観察できる2つの最新ツールを紹介いたします。多数の皆様のご参加をお待ちしております。

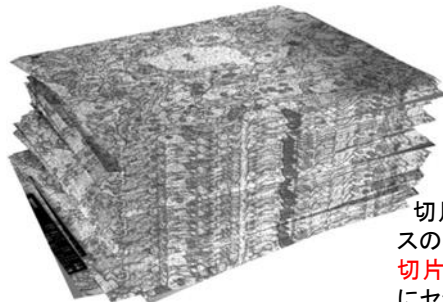
日 時	: 平成26年5月27日 (火) 16:00 ~ 17:40
場 所	: 第一カンファレンス室 (医学部基礎A棟1階西)
講 師	: 藤谷 洋 (日本ローパー ガタン事業部) 相蘇 徹 (東陽テクニカ 分析システム営業部) 小森研治 (東陽テクニカ 分析システム営業部)

プログラム

16:00 ~ 16:02	はじめに	先端医療研究部門 部門長	井本逸勢
16:02 ~ 17:00	3次元 高分解能電子顕微鏡		
	『マイクロトームを使った自動連続断面観察と3次元立体画像構築』	藤谷 洋	
	『超低加速 試料にやさしい高分解能電子顕微鏡イメージング』	相蘇 徹	
17:10 ~ 17:40	3次元 X線マイクロCTスキャナ		
	『骨組織から軟組織まで非破壊内部構造の観察』	小森研治	



マイクロCTによるマウス
脳内部血管の立体像



切片化 & TEMで取り込んだシナプスの典型的なイメージ群 (左)。
切片化前の試料を3D-SEM (3View) にセットすれば、断面連続イメージング & 3D立体画像構築機能により、自動で同様なイメージ群を出力